

令和7年度 学校経営の概要

上野村立上野小学校

校長 梯 直人

基本理念 上野村に誇りを持ち、ふるさと上野村に心を寄せ続けられる児童生徒の育成

I 学校教育目標

「進んで学び 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」

(1) 目指す学校の姿

- ・ 全ての子どもの可能性を引き出し伸ばす学校…家庭、地域と協働して質の高い教育を実現し、一人ひとりの子どもの良さを育み伸ばす

(2) 目指す子どもの姿

- A 進んで学ぶ子…自ら考え、自分から学びに向かい、粘り強く取り組む子ども
 - B 思いやりのある子…礼儀正しく、誰とでも認め合い、自分もみんなも大切にする子ども
 - C じょうぶな体をつくる子…規則正しい生活を送り、進んで体力づくりに取り組む子ども
- ※児童会スローガン 「Challenge ～やればできる～」

(3) 目指す教師の姿

- ・指導力向上を目指す教師…子どもの良さや可能性、自ら学ぶ力を引き出し伸ばすために、常に進化する教師
 - ・子どもへの愛情を有する教師…その子の将来をイメージし、個に応じた厳しくも温かな指導を行う教師
 - ・豊かな人間性を有する教師…職務への専念と私生活の豊かさのバランスを保ち、人間的魅力を高める教師
- ※「大人も Challenge ～やればできる～」

2 学校経営の重点

- ・自ら学ぶ力の向上を目指した授業づくりと家庭学習の改善。 核となる言葉 → 「自分から」
自分で学ぶ力、学び合う力（個別最適な学び・協働的な学び）を高める一つの方法としての上野小に適した単元内自由進度学習への Challenge
- ・生活科、総合的な学習の時間を中心とした探究的な学習、教科横断的な学習、上野村とつながる学習の充実。
- ・ICTの活用による合理的配慮の視点を生かした授業の充実
- ・コミュニティ・スクールを基盤とした保・小・中学校・家庭・地域の協働による教育活動の充実
- ・学び合い、指導力を高め合う教師集団づくり

3 学校教育目標達成に向けた具体的な取組

A 自律した学習者の育成

- ・子どもは一人ひとり違っており、みんなが同じではないことを前提として考える。
- ・自己決定、対話・交流、試行錯誤を取り入れた授業実践。
- ・困っても、迷っても、間違っても、失敗しても大丈夫という心理的安全性の醸成。

B 多様性を尊重し、自他の良さを認め合う児童の育成

- ・児童会スローガン「Challenge～やればできる～」を合い言葉にした、個々の挑戦の場、活躍の場の設定
- ・地域人材や自然環境を活用した本物との出会いなど、人と自然への理解とつながりを深める体験活動の充実
- ・生徒指導実践上の4つの視点を生じた報・連・相と、一人ひとりを大切にする組織的な生徒指導の推進。

C 家庭、地域と協働した取組による、進んで健康・安全管理、体力づくりに取り組む児童の育成

- ・進んで運動をしたくなる環境作り
- ・健康、安全、衛生、食を関連付けた、将来にわたり自他を大切にする指導の推進